丸井グループの共創ＩＲ活動

株式会社丸井グループ取締役上席執行役員 CDO 経営企画・ESG 推進担当 IR 部長
加藤　浩嗣

このたびは、ディスクロージャー優良企業に選定いただき、誠にありがとうございます。当社は、企業価値をお客さま、株主さま、お取引先さま、地域・社会の皆さま、社員など、すべてのステークホルダーと共に創っていきたいと考えています。ステークホルダー間の利益は、相反するともいわれますが、相互に重なり合う利益や価値もあり、私たちはその重なりこそが真の企業価値であり、その拡大が企業価値向上であると確信しています。

アナリスト・投資家の皆さまとの企業価値の共創にあたっては、2015 年 10 月に IR 部を設立し、「アナリスト・投資家の皆さまとの対話は、事業におけるお客さまとの対話と同じ」と考え、年間 200～300 機関との対話をおこなっています。

当社では財務情報はもちろん、未だ顕在化していないものの財務情報と同様に重要と考えるプレ財務情報もあわせて、積極的な開示と対話に努めています。IR 活動の目的は対話による企業価値の共創と考え、皆さまとの信頼関係を構築するとともに、いただいた声を社内にフィードバックして持続的成長やビジネス進化につなげる取り組みを進めています。

対話で得た気づきは、さらなる開示の充実にも活かしています。具体例のひとつとしては、環境変化にともなう機会と脅威への対応の説明があります。未来に向けた取り組み、とりわけリスクへの対応についての提示が明確に示されていないという声に対して、10 年後を見据えた長期の環境変化にともなう「機会と脅威」を分析し、当社の対応と目指すべき方向性を決算説明会の場を通じて説明しました。その他にも、中期経営計画にともなう 5 年後のバランスシートを作成して最適資本構成の目標を設定したことをはじめ、小売・フィンテックのセグメントごとに分けた情報や、キャッシュフロー計画などの開示をおこなうことで、当社への理解を深めていただくことに努めてきました。

また、2015 年度より統合報告書「共創経営レポート」、「共創サステナビリティレポート」を発行、あわせて「共創サステナビリティ説明会」を開催して現場担当者による取り組み事例や ESG の取り組み状況を説明しています。当社では ESG の取り組みは、長期経営の視点が企業価値向上とサステナビリティ経営の推進につながると考えています。今後は ESG においても長期ビジョンと、その実現に向けた長期目標・KPI を示してほしいとの声に応えていく予定です。

企業価値を一言で表現するのは決して容易ではありませんが、企業価値をどうとらえ、向上に取り組んでいるかを説明することは重要と考えています。対話を通じて私たちの考えを伝えることで、アナリスト・投資家の皆さまからさらなる知見をいただき、新たな企業価値向上につなげることが期待できるからです。アナリスト・投資家の皆さまには、この度の選定をはじめ、日々の対話を通して多大なるご支援をいただき、大変感謝しております。これからも、皆さまとの対話を通じて企業価値向上に努めていきたいと考えております。引き続きのご支援をお願い申し上げます。